

小二

しめいは上と下のあきをそろえて、かだいの文字よりすこし小さめに書きます。

はんぶんでおれる とめる		たかさそろえる はらう		ながく はらう	
あ		ふかくもどる みじかくそろえ 止める		まんなかを そろえる	
おなじ ながさ ひろめにあげる		ふかくおり かえす 止める		ひろめにあげる	
の		字			
このあたりまで はらう そろえる		まっすぐ下へ、 ながくひく 止める			
はらう 下まで長く しつかりまじわる		ひろく あける とめる はねる			

はじめに、しせいとえんぴつのもち方をたしかめます。
正しく書けているか、ととのって書けているか、がたいせつです。「止め・はね・はらい、せんの長さとおむき、あき、おれ、おりかえし、まがり、そり、せんとせんのつき方と交わり方、ひつじゅん、外形」にきをつけて書きましょう。
てほんの文字を見ながら、右のマスに書いてみましょう。

硬筆指定課題 評価の観点

《小二》 大平恵理 書

○

広いあき
せまいあき

●

同じ広さの
あき

○

ちゅうい
するところ

□ △

外形

せつめいのきごう

↗ 長さ

↖ おむき

⋯ かがり

※「外形」とは、だいたいの形の事です。